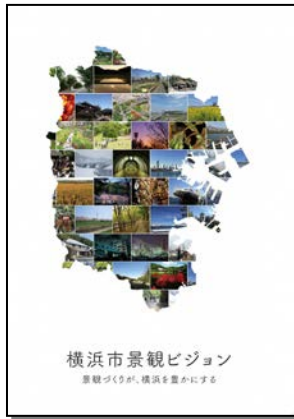


「横浜市景観ビジョン」を改定しました！



「横浜市景観ビジョン」は、地域ごとに特徴ある歴史や文化、魅力的な街並みの形成、水と緑をいかしたまちづくりなど、横浜市の景観づくりで大切にしてきた理念や目指すべき方向性を長期的な視野に立って示す、景観づくりの指針として平成18年に策定しました。

人口減少や国際規模の都市間競争の時代を迎える中、今後も「住みたい」「働きたい」「訪れたい」と思える豊かな横浜を目指し、市民・事業者・行政で協力して景観づくりを推進するため、「横浜市景観ビジョン」を改定しました。

改定のポイント

これまでの景観づくりで大切にしてきた理念を継承しながら、市民や事業者の皆さまと協働してより一層魅力的な景観づくりを進めるために、以下の視点を持ちながら、解説や表現の充実や記載内容の修正・追加を行いました。

■郊外部における、地域から愛される魅力ある景観づくり

駅前再開発など地域の新たな魅力となる景観づくりや、地域の自然や歴史、広場等の資源をいかしたまちづくりにおいて身近な景観づくりを進めます。これにより、郊外部においても、地域から愛着をもたれるような、魅力ある景観づくりを進めます。

取組の参考事例



周辺の地域と調和し、賑わいを生む駅前空間
【たまプラーザ駅】



リノベーションにより団地住民の新たな交流の場となった広場
【左近山団地】

■都心部における、きめ細かい景観づくり

今まで進めてきた横浜の顔となる都市景観形成を進めつつ、多くの来街者の目に触れる空間にも着目し、都心部ならではの個性をより一層引き出す、きめ細かい景観づくりを進めます。

取組の参考事例



工事中の仮囲いを活用した、街の賑わい性を高める演出
【JR 横浜駅西口仮囲いプロジェクト】



街並みに調和したオープンカフェによる公共空間の賑わいづくり
【日本大通り】

■これまでの検討経過

平成27年度～29年度 改定内容検討、都市美対策審議会での審議

平成30年度 庁内検討、素案作成、

市民意見募集（平成30年10月3日～17日、68件21名）

改定・公表（平成31年3月28日）

■横浜市景観ビジョン（改定版）の閲覧方法

横浜市景観ビジョンの本編および実践ガイド、概要版、市民意見募集の実施結果等については、都市デザイン室ホームページに掲載しています。

⇒都市デザイン室「横浜市景観ビジョン」HP

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/design/mokuhyo/vision.html>

目次

序章 横浜市景観ビジョンについて 景観ビジョンとは 景観ビジョンの位置づけ	第3章 景観づくりの方向性 横浜らしい景観をつくるポイント 地域ごとの景観づくりの方向性
第1章 横浜の景観づくりと課題 景観づくりの系譜 景観づくりをとりまく状況と課題 景観ビジョンの改定について	第4章 景観づくりに関する取組み 創造的協議により質を高める景観づくり 制度の活用により質を担保する景観づくり 景観に係わる事業の実施と調整 景観づくりの普及と協働
第2章 景観を考える際の基本的事項 景観と景観づくり 景観づくりの意義 市民・事業者・行政の役割 景観の将来像を考える手がかり	

■参考事例集「実践ガイド」を作成

景観ビジョンの改定に合わせて、市民や事業者の皆さまが景観づくりを進める際に参考となる事例集として「実践ガイド」を作成しました。

各事例では、魅力的な景観が形成される過程で大切にされたポイントや、工夫した点を掲載しています。



お問合せ先

都市整備局都市デザイン室長 梶山 祐実 Tel 045-671-2009